

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 8 月 12 日

調査者氏名 村下 弘 美 正 生 (隊員)

145 獣 医 師

加筆

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Syria A.R. (現地公用語)	Veterinarian	新規	(男) / 人	61年7月 (61年度1次隊) 2次隊でも可	
シリアアラブ共和国 (日本語)	獣医師(45)	希望	(女) 人		
			(男女不問) 人		
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform					
① 配属先名称(現地公用語): General Organization of Cattle (日本語): 農業農地改革省 酪農公団					
② 隊員勤務先名称: Animal Health Section of State 日本語名称(国営牧場動物衛生課) 所在地: Jub ramleh ジブラムレ 主要都市(ダマスカス)から300キロ					
③ 事業規模及び内容: 酪農公団傘下の牧場の中では古く1960年に設立され、現在乳用及び肉用牛約1000頭(フリーシアン種、乳用約450頭)を飼養している。成乳牛はスタンション形式の係留をしている。ミルク設備の更新、草地拡張の計画有り。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 必要最少限の器具は有している					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 牧場勤務の獣医師					
② 技術の範囲: 乳牛、仔牛の一般診療、繁殖障害除去、早期妊娠診断、予後判定、剖検、各種ワクチネーション、人工授精					
③ 業務の形態: 牧場に常駐し、シリア人スタッフと共に各種疾病の治療、発生原因の追及及びその予防を行う。また当牧場はフーディング及びマネジメントに関する問題も多くそれらに対するカウンセリングと互えることも一つの任務となる。更にシリア人スタッフの勤労意欲及び向上心は種々の理由により生み出される傾向にある為、まず自分から実践し、シリア人スタッフを啓蒙啓発することが中心となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医師は大卒(5年)、獣医助手は短大卒、獣医師としての経験はあるが、専門知識は乏しく診断技術レベルは低い。25~35才位					
⑤ 現地で利用できる機材: 不足がちながら注射器等最低限の器具は使えるも、医薬品は常に不足がち。また自律神経系に作用する薬品は非常に入手困難、外科産科器具は貧弱である。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 現場ではアラビア語、酪農公団会議等は英語も使う。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現場においては、隊員の協力から獣医師の技術的レベルアップを、更に牧場の生産性の改善を計ろうという空気は無い。また牧場内常駐ということで特に休日夜間の急患への対応が望まれている。しかしそういう環境の中で、隊員の日常業務の実践を通じてシリア人獣医師を啓蒙し更に生産性の改善を計るということが望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">獣医師免許取得者</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">乳牛の臨床経験2年以上</div>					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 8 月 12 日

調査者氏名 木村 義昭 (原資) 吉村 正秀 (駐在員)

145 獣医師

145

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Syria A.R. シリアアラブ共和国	(現地公用語) Veterinarian (日本語) 獣医師 (145)	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61 年 7 月 (61年度1次期)	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform					
① 配属先名称 (現地公用語): General Organization of Cattle (日本語): 農業農地改革省 酪農公団					
② 隊員勤務先名称: Animal Health Section of State 日本語名称 (自営牧場動物衛生課) 所在地: Deir-Al-Zor テリゾール 主要都市 (ダマスカス) から 500 キロ					
③ 事業規模及び内容: 酪農公団傘下の牧場の牛では古く 1960 年設立され、現在 71-ジアン種約 1000 頭 (乳用成乳牛約 450 頭) を飼養している。成乳牛はスタンション形式の係留をしているが、現在 ミルキングパーラーを建設中である。400ha の草地を所有しており、青草サイロにも生産物					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 必要最少限の器具設備は有している。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 牧場勤務の獣医師					
② 技術の範囲: 乳牛、仔牛の一般診療、繁殖障害除去、早期妊娠診断、疫病牛の予後判定、剖検、各種ワクチネーション、人工授精					
③ 業務の形態: 牧場に常駐し、シリア人スタッフと共に各種疾病の治療、発症原因の追究及びその予防を行う。しかし当牧場は各種検査機械用から遠隔地にあるためサンプル送付に困難があるので、診断時の客観的資料を提供するためには若干の臨床検査も必要であろう。またシリア人スタッフの勤労意欲及び向上心は種々の理由により失われつつある傾向にある為、まず自分から実践しシリア人スタッフを啓蒙、啓発する事が中心となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医師は大卒 (5年)、獣医助手は短大卒、獣医師としての経験はあるが専門知識は乏しく、診断技術レベルは低い。25~35 程度					
⑤ 現地で利用できる機材: 不足からながらも注射器等最低限の器具は使えるも、医薬品は常に不足から。また自律神経系に作用する薬品は非常に困難、外科 内科器具は設立当時より置か置いていたものがあるが古くて使用できないものが多い。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 現場ではアラビア語、酪農公団会議は英語も使える。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現場においては、日本人の協力を獣医師の技術的向上、更に牧場の生産性の改善を計ろうという様子は見えない。また牧場内常駐ということでは特に休日夜間の急患への対応が望まれている。しかしこういう環境の中で隊員の日常業務の実践を通じてシリア人獣医師を啓蒙し更に生産性の改善を計るということが望まれている。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): <input checked="" type="checkbox"/> 獣医師免許取得者 <input checked="" type="checkbox"/> 乳牛の臨床経験 2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 8 月 12 日

調査者氏名 高橋 英雄 (陽明) 吉村 正秀 (社友)

145 獣 医 師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Syria A.R. (現地公用語) シリア共和国	Veterinarian (日本語) 獣医師 (145)	新規	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年7月 (1年度1次隊)	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform.					
① 配属先名称 (現地公用語): General Organization of Cattle (日本語): 農業農村改革省 酪農公団					
② 隊員勤務先名称: Animal Health Section of State 日本語名称 (国营牧場動物衛生課) 所在地: Deraa ダラ 主要都市 (ダマスカス) から 約100キロ					
③ 事業規模及び内容: 酪農公団傘下の牧場で、約1400頭の乳牛(フ-ジアンホルズ42)を飼育している。搾乳牛約600頭、肥育牛約400頭、育成、未経産牛約400頭を飼育し、牛乳(日産約5500kg)、食肉を生産している。全従業員約80名、草地約450haを所有する。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 必要最少限の設備は有る。ミルキングパーラー等老朽化したものは徐々に更新している。					
(2) 隊員の業務内容 (就業時間は 8:30~14:30、緊急時には夜間、早朝、休日の就業もある。)					
① 隊員の業務上の地位: 牧場(衛生課)専属獣医師。					
② 技術の範囲: 乳牛の一般診療(臨床)、人工授精及び妊娠鑑定、死亡牛の剖検、各種ワクチン注射、現地人職員等の啓発、指導及び新技術(新知識)の伝達。					
③ 業務の形態: 牧場に常駐し、シリアスタッフ等と共にその運営に協力する。一般診療を實踐し、若い獣医師、その他シリアスタッフの啓発、技術指導等とともに、成績向上(子牛の死亡率減少、受胎率向上、疾病率の減少、乳量増加等)のための提言、家畜衛生改革が期待される。また成績向上のための新技術をシリアスタッフと共に開発、研究することも期待される。IBR、乳房炎、口蹄疫、牛痘、ブレイク等の急性伝染病に見舞われることある。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: チーフ獣医師は、東シベリアで学んだ経験豊富、向上心もあり技術水準高い(年齢40才位)。若い獣医師(28才)は向上心にはあがるが実践技術低い。アシスタント獣医(候補生)					
⑤ 現地で利用できる機材: の技術水準は高く、日本での研修経験あり。かなりの物がそろっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 生産課エンジニアが1人とおお(チーフ獣医師の奥さん)					
⑦ 使用する言語: 英語及びアラビア語(一般業務はアラビア語が主だがチーフ獣医師への提言は英語でおお)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: シリア人の若い獣医師が定着しやすい(給与が安い等の理由)またいろいろなおもて成程が頭打つとなっている。従って若い獣医師の指導、啓発の意味が成績向上のための改善、提言の意味が隊員の榮譽を強く望んでいる。更に日、シ両国の親善、交流に寄与することも、その背景の一つでおお。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): (大卒で獣医師の資格取得者)。(乳牛の診療経験3年以上有ること)。 明るく社交的で協調性に富む人物。					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 8日

調査者氏名 山口 廣治

145 獣 医 師 新 任 師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) TO ASSIST TEACHING PARASITOLOGY	新規	(男) 人	61年 月	
	(日本語) 寄生虫学 教官助手(獣医)	交替	(女) 人 (男女不問) / 人		

(1) 配 属 先

- ① 配属先名称(現地公用語): University of Zambia (UNZA)  
(日本語): ザンビア大学
- ② 隊員勤務先名称: UNZA School of Veterinary Medicine 日本語名称(ザンビア大学 獣医学部)  
所在地: P.O. Box 32379 LUSAKA 主要都市(都心)から 8 キロ
- ③ 事業規模及び内容: ザンビア大学は現在理学部約4000人の学生が居るがここに日本の無償協力により獣医学部を増設した事になり、1986年2月に完成予定である。それに獣医前教育が開始されており、約40名程の学生が獣医学部に送られた事である。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在工事中であるが、本館、図書館、教育棟、9,126平方メートル、宿舎その他3,782平方メートル、教材機材用俵は、運賃に伴い逐次導入予定。

(2) 隊員の業務内容 (獣医学部におき)

- ① 隊員の業務上の地位: 寄生虫学教授(日本国内定)の教官助手、Teaching Assistant
- ② 技術の範囲: 寄生虫学に関する講義の実施及び応用の知識を必要とする。
- ③ 業務の形態: 主に寄生虫学に関する授業及び野外実習の教官助手。  
(獣医学部におき)

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 獣医前教育の終了した獣医学専攻学生及び獣医学専攻内初級を終った学生が20才前後

- ⑤ 現地で利用できる機材: 現在逐次準備中だが基本的な機材はほとんどそろった。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 35カ国から約200名の教官(イタ、英、米、オランダ、アメリカ)居る

- ⑦ 使用する言語: 英語 獣医学部長は フィリピン人

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: (獣医部の)  
獣医学教育の目標として獣医師分野に従事する国際レベルの養成を目的としているが、教官助手として日本の国内及び他の獣医学教育スタッフの助手としての活動を期待している。

- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):  
① 獣医関係の大学を卒業し、獣医語の資格を有している事  
② 1年以上の実務経験が望ましい。

※ 事務局記入 日本人の集団となるのが 明らか、素直で、協調性の有る人。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 8 月 10 日

調査者氏名 川島雅信 (山口廣治)

145 獣医師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガンビア	(現地公用語) Veterinary (日本語) (145) 獣医師	新規 交替	(男) 2 人 (女) (59%) 1 人 (男女不問) 1 人	61 年 8 月 早野急 (59%) 又は 12 月	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Water Development					
① 配属先名称 (現地公用語): Department of Veterinary and Tsetse Control (日本語): 農業、水資源開発省 獣医 1/2 局					
② 隊員勤務先名称: District (or Provincial) Veterinary Office 日本語名称 (地区(21州)家畜保健所) 所在地: 着任後 獣医局と相談して決定する。主要都市 ( ) から キロ					
③ 事業規模及び内容: 同局は各州に家畜保健所を持ち、更に各州内には数ヶ所の地区家畜保健所がある。各保健所は家畜の診察・治療・予防ワクチンの接種・病理解剖等を行っている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 各地区により異なるが、大部分は町中に位置し、事務的に仕事を行う部屋と診療室とが設備されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 獣医師として各保健所長の下で、あるいは保健所長として業務を行う。					
② 技術の範囲: 一般的に臨床学 (内科・外科・繁殖学) 及び家畜病理学 (病理解剖)、家畜寄生虫病学に関する知識・技術。					
③ 業務の形態: 各保健所に勤務し、家畜の診療 予防接種等を行う。 動物は大・中・小動物及び鶏が対象となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: Veterinary Assistant が主な対象となる。 後者は 2 年間の短大卒である。					
⑤ 現地で利用できる機材: 注射器・薬剤・外科手術器具等があるが、慢性的に不足している。 その他、地区によっては顕微鏡・遠心分離機等も持っている。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 白人、スリランカ人、等のコトクター、及び F.A.O. や アフリック からの派遣					
⑦ 使用する言語: 英語 獣医師が多数。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ガンビア大学の獣医学部の卒業生が出るまで、約 10 数年かかるので、その間獣医師は不足している。その不足分をまかなう意味では、協力隊に対する期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) 獣医師免許を有する者 臨床経験のある者					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 8 月 30 日

調査者氏名 山口廣治、福田明男

145 獣 医 師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) VETERINARY (日本語) 獣医師 (145)	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年5月	
(1) 配属先 (2) 福田明男 (5/12)					
① 配属先名称 (現地公用語): Department of Veterinary and Tse Tse Control Service (日本語): 獣医ツツツ診療局 (農業水産課南発着)					
② 隊員勤務先名称: Zambia Institute of Animal Health 日本語名称 (ザンビア畜産衛生短大) 所在地: P.O. Box 237 MZABUKA 主要都市 (LUSAKA) から 125 キロ					
③ 事業規模及び内容: 学生数 60 名、スタッフ 10~14 名、教授 約 60 人、Vet assistant Vet laboratory assistant, Tse Tse Control assistant のコースがある					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 教室、実験室、動物入院病棟、解剖室、実習農場、学生用 宿舎、食堂、スタブ用オフィス、テイルーム等					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Veterinary Officer					
② 技術の範囲: 獣医学全般における幅広い知識が要求される (特に大動物に肉付) フィールドでの経験 (実際に学生の前で、見せる技術) が要求される。					
③ 業務の形態: AM 8:00 ~ PM 12:30 講義、PM 2:00 ~ 4:00 実習 (月火木金) AM 8:00 ~ PM 12:30 野外実習、PM 2:00 ~ 4:00 スポーツ (水) 土、日曜日でも実習農場家畜の病理解剖などもある JOCV 獣医による、マラリア、T.B 調査プロジェクトへの参加					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 学生 (Form 5 取得者 20~25才)					
⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡、病理切片標本作成用撹拌一式、X-RAY 装置、 一般検査用検査器、冷凍庫、蒸留装置、高圧滅菌機等					
⑥ 第3国人等の配置状況: ウガンダ人校長、エジプト人コトラー、計 2 名					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ザンビア国内における獣医師絶対数が不足している。 現在 ZIAH では、獣医師はウガンダ人校長と JOCV 隊員の 2 名だけ、校長は、ほとんどの学生に接する機会がなく、JOCV 隊員の活動にたよるところが おおきい。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): <u>獣医師免許取得者</u> 大動物臨床経験 2~3 年以上が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 8 月 14 日

調査者氏名 橋本 信一郎

145 獣 医 師

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) vétérinaire	新規	(男) 1 人	62年 1月	
	(日本語) 145 獣医師	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministère du développement social

(日本語): 社会開発省

② 隊員勤務先名称: C.N.F.M.E.T.P. de Guérina 日本語名称(ケリナ農業教育センター)

所在地: Guérina, Dépt. de Bignona, Région de Ziguinchor 主要都市(Ziguinchor)から 26 キロ

③ 事業規模及び内容: 農民とその子弟を收容し農業と畜産の技術を講義と実習によって研修させている。研修生は寄宿舎に入り 9ヵ月間は 1800時間余りの授業(実習を含む)を受ける。セネガル農民に近代的な農畜産の技術をもたらすことが本センターの目的である。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 演習農場 85ha, 敷地合計 100ha, 講義棟・事務棟・学生食堂各 1。実習作業棟 3。寄宿舎 4, 職員用官舎 10。牛舎, 放牧場各 1。飼育牛(カガマンス在来種) 17頭。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: instructeur, 教官

② 技術の範囲: 家畜の疾病一般について教える。センター所有家畜や付近農村の家畜(牛・馬・ロバ・緬羊・山羊・鶏)について診療を行う。

③ 業務の形態: 教室で授業を行うことが業務の中心である。授業では家畜の疾病について症状から治療法までを具体的に教える。解剖学・生理学の基礎的な知識も必要に応じて講義する。担当授業は 週 2~4回 4~8時間である。

また依頼に応じて診療業務にあたることもある。動物種別では牛が最も多く次いで緬羊、山羊…の順である。いずれの動物にも寄生虫性疾患が多い。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 研修生の技術水準は伝統的な知識・技術のみをよりどころとするもので低レベルである。学歴は小学校程度が多い。中卒の者もある。年齢は 17歳から 40歳まで様々。

⑤ 現地で利用できる機材: 外科器具・解剖器具セット。無血去勢鉗子。開口器。子宮洗浄器具。煮沸消毒器。前蹄具。金属注射器。顕微鏡。その他臨床用器具若干。  
16mm映写機, 35mmスライドプロジェクター, 小型発電機(100V 50Hz 1400W)。

⑥ 第 3 国人等の配置状況: センター職員に第 3 国人はいない。U.S.AID 関係者の出入はある。

⑦ 使用する言語: フランス語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 2代にわたって獣医師隊員が派遣されている。セネガル人スタッフは獣医師がいなから隊員に寄せる期待は大い。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

獣医師免許。原付免許。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 9月 16日

調査者氏名

佐尾小者二

146 飼料作物

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Pasture Grass (Growth)	新規	(男) 1人	年 月	
	(日本語) 146 (牧草栽培)	交替	(女) 人		
			(男女不問) 人		
(1) 配属先 飼料作物					
① 配属先名称 (現地公用語): Central Luzon State University (CLSU)					
(日本語): 中部ルソン大学					
② 隊員勤務先名称: Philippine Carabao Research and Develop-ment Center, Carranglan, Nueva Ecija					
所在地: 主要都市(サン・ホセ)から 25キロ					
③ 事業規模及び内容: 国連開発計画 (UNDP) と FAO の援助に於て フィリピン水牛 (ウラバ) の改良計画。コラー水牛の導入。カラバオの体躯大型化とほかに、酪農開発も行う。保有水牛 244 頭、プロジェクト面積 1,039 ハクタール					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 事務所、飼料成分分析ラボラトリー 他。 (添付写真参照)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Research Specialist (専門研究員)					
② 技術の範囲: 牧草の適応性試験、種子生産及び草地造成技術。					
③ 業務の形態: 600 ハクタール以上の草地造成のためには、牧草の適応試験を行う。草地造成のため、適応品種を農村に普及する業務も行う。標高約 300m、土壌 pH 4.8 ~ 5.2、優占草種 Themeda triandra の丘陵地開発が対象となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: プロジェクト責任者 = 修士課程修了、38才、研究員 大学院卒 24才。					
⑤ 現地で利用できる機材: プルドーガー、トラクター、成分分析装置など。					
⑥ 第3国人等の配置状況: オランダ人 FAO 準研究専門家 (Associate Professional Officer)					
⑦ 使用する言語: 英語、タガログ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
1. 大学院学部卒					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 9月 10日  
 調査者氏名 笠子 美

146 飼料作物

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Feed and Fodder Crop	新規	(男) 人	61年 7月	
	(日本語) (146) 飼料作物	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): National Youth Service Council					
(日本語): 国家青年活動評議会					
② 隊員勤務先名称: NYSC Training Centre					
所在地: Eraminipaya			日本語名称( ) 主要都市(コロンボ)から420キロ		
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: 飼料作物 及び 園芸					
③ 業務の形態: 農業コース訓練(6ヶ月、20人)を年2回行い 実習、講義を他のJOCV隊員と協力して実施する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 生徒は18歳~25歳位で 教育レベルはまちまちである。					
⑤ 現地で利用できる機材: 有。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし。					
⑦ 使用する言語: シンハラ語 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
農業部卒 もしくは 農高卒					
116					
※ 事務局記入					

# 青年海外協力隊派遣受入希望調査表

151 農業協同組合

記入昭和 59年 8月 27日

調査者氏名 河野文男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) ECONOMIA AGRICOLA	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
	農業協同組合	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 151

イ. 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL de FOMENTO COOPERATIVO

(日本語): 組合助成局

ロ. 隊員勤務先名称: UNION NACIONAL de COOPERATIVAS 日本語名称 (協同組合連合会)

所在地: サンホセ 主要都市からの距離 (〜より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1969年設立の組合連合組織、各種産業の70組合が加盟、傘下組合に対する経営指導、資金援助を行う。

ニ. 設備概要: 本部ビル

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 技術指導員

② 技術の範囲: 傘下組合における農牧畜に係る下記外の立案、新規組合設立に係る可能性調査、市場調査、財務管理の基礎的知識を要する。

③ 業務の形態: 本部勤務型

④ 指導対象: 本部職員  
カウンセラー予定者は教育訓練部所属職員  
(25才、男、高卒、経験4年)

⑤ 機材: 事務機器

⑥ 本国人: 無

⑦ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農業組合は数限りなく存在するが、規模的にはどれも小さく、知識の不足と相対的に効率的な運営に至っていない。農牧畜主導の計画による恩恵を受けることが困難な中小農民に対する技術普及、ひいては生活水準の向上のために各組合及び連合会の果たすべき役割は大であること、隊員の期待も無制限である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 大学卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 9月 2日

153 村落開発普及員

調査者氏名 浜田 眞一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア (サバ)	(現地公用語) Village Improvement Officer (日本語) 153 村落開発普及員	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Unit Pemimpin Kemajuan Rakyat (日本語): 人民発展指導庁					
② 隊員勤務先名称: Community Development Centre 日本語名称(地域開発センター) 所在地: Kota Kinabalu, Sabah 主要都市(コタキナバル)から キロ					
③ 事業規模及び内容: サバ州首席大臣府に属し、セクター 70名、48区への支所に 担当があり、各種訓練コース(農業、家政等)、7-7キャンプ等、地域住民の 生活向上に寄与している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 訓練センター					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 村落開発普及員					
② 技術の範囲: サバ州村落改善計画のための調査、企画、立案を行う。 村に在位の隊員と配属先とのパイプ役。					
③ 業務の形態: コタキナバル市のセンターに勤務し、必要に応じて、現場隊員訪問。 或、新しいプロジェクトのための調査等を行う。 特に、次の隊員が入るべき新しい村の開発が主となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: カウンターパートは、1人。 シニア調査官、ハワイ大卒、32才					
⑤ 現地で利用できる機材: J.O.C.に寄贈のトヨタランドクルーザー1台他、公用車、 4台他、必要に応じ、配属先より貸与、支給される。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員のみ、9人。(センターに1人、村に8人)					
⑦ 使用する言語: 英語 or マレー語(訓練は英語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 首席大臣直々の要請で開始され、才1陣として 本年4月より6名が赴任し、現在9人。村落開発は、町独自で推進していく ため、人材難で、隊員の独自の企画、実行に自らの所が大きい。 全くの新しいプログラムであり、暗中模索であるが、半年間の活動評価は 高く、今後の活躍が大きいと期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(大卒)、村落開発について学んだ人で、年齢25才以上か、他の 隊員との関係上、好ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 9月 10日

153 村落開発普及員

調査者氏名

白鳥 清志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Environmental Village Management (日本語) 153 村落開発普及員	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 7月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Local Government, Housing and Construction  
(日本語): 地方行政住宅建設省

② 隊員勤務先名称: National Housing Development Authority (NHDA) 日本語名称( )  
所在地: Authority (NHDA) 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: モデルヒルズの建設 コミュニティ・センター

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位:

② 技術の範囲: 農業から手工芸品の知識, 普及手帳, 環境整備, 衛生, 生活改善等.

③ 業務の形態: NHDAのスタッフ及び各モデルヒルズのコミュニティ・メンバーを助けてモデルヒルズにおける各種プログラムの推進及び生活環境の改善を図る。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

農村住宅建設運動の一環として、豊富なアイデアを期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

大学

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 7 日

調査者氏名

大地雄二

153 村落開発普及員

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) Village Development (日本語) 村落開発普及員	新規 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	61 年 7 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education Ghana Education Service (日本語): 教育省 教育局					
② 隊員勤務先名称: Instructor Training School 日本語名称(技術科教師養成校) 所在地: アクラ州の中心部から 250 キロ 主要都市(アクラ)から 250 キロ					
③ 事業規模及び内容: 本 project は schools for employable skills (S.E.S) と称し教育省と UNICEF が共同で行う地域住民の生活の安定と向上を目的としたものである。小学校卒業程度で社会に出て働く子供や身体障害者あるいは専業主婦に対し、就労最低限度の技術や知識を身につけ					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 地、地場産業への就労促進を目的とし、力の向上を旨とした職業訓練(農業、手芸 etc) を行うもので、各村落で指導にあたる教師を対象に技術や知識を授ける。アクラ市に S.E.S の仮寮所がある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Community Development ADVISOR					
② 技術の範囲: 農業、社会福祉、建築、土木に関する。地域開発を行う上で、地域住民の生活向上に助言、実行に及びて積極的に活動すること					
③ 業務の形態: ① 地域に何か必要とされているかを調査報告(医療、地場産業、生活レベル) ② 食糧生産量をあげることで収入を増やす ③ 日ごとの生活の中から、森林破壊のおそれ、土壌、水、森林保護の必要性、生態系を維持する生活がいかに大切かを理解してもらう 上記について調査、企画、立案を行う。また、カウンターパートの養成。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: S.E.S project は本年度(1985年)から始まる新しい取組であり、各村落における機能促進、企画、運営、調整等、隊員の活躍が期待される。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 地域開発について調査、企画、立案できること (自動車運転免許及び自転車運転免許)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 3 月 9 日

調査者氏名

金山昌功

153 村落開発普及員

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) RURAL DEVELOPMENT (日本語) 153 村落開発普及員	新規 ◎ 替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): ATWIA TOWN COUNCIL (日本語): アツワ村役場					
② 隊員勤務先名称: / 日本語名称( )					
所在地: EKUNFI, ATWIA, CENTRAL REGION 主要都市(アクラ)から120キロ					
③ 事業規模及び内容: アツワ村(人口約500人)の生活環境の改善及び現金収入を増加させる為のプロジェクト作り。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 長老と同等の地位					
② 技術の範囲: 現在淡水魚養殖プロジェクトを計画中であり、水産関係の養育のある人が望ましい。					
③ 業務の形態: 氷といったプロジェクトが用意されている訳ではなく、隊員を中心に長老々と協力の上、村民の生活環境改善及び現金収入につなげるプロジェクトの設定。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 未定。					
⑤ 現地で利用できる機材: 発電機、ゴムボート					
⑥ 第3国人等の配置状況: 未定					
⑦ 使用する言語: 英語、フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
村に現金収入に付る産業と見込めるところから、新しく現金収入の途を作れる為村民に於て隊員に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
2年間 水、電気、生活で別 体力、気力共に健康であること。 バリエーションのある水産関係の養育のある人が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 2 月 20 日

153 村落開発普及員

調査者氏名

黒木 隆

調査員氏名 黒木 隆

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Extensionista de Desarrollo Rural	新規	(男) 2 人	60年 1 月	60/3 井上
	(日本語) 153 村落開発普及員	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): DIRECCION DE FOMENTO COOPERATIVO

(日本語): 協同組合助成局

② 隊員勤務先名称: 農牧畜・水産部

日本語名称( )

所在地: テグシガルバ

主要都市( )から

キロ

③ 事業規模及び内容: 農業・墾業をはじめ、牧畜・林業・交通及び金融にいたるまで、

ホンデュラス全土にわたり、協同組合組織で運営されているすべての組合活動を

育成・発展させていくことを目的としている。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 首都に本局があり、3 地方都市に地方事務所が置かれており。(設備としては特記おことなし)

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 村落開発普及員

② 技術の範囲: 農業・墾業及び生業についての一般知識、協同組合の組織と運営。

③ 業務の形態: 業務は現場での仕事を中心とする。直接、農村、墾村に入り、その中で彼らの生業である農業、墾業等を協同組合という組織づくりを行ない、実際にわたる活動計画を立案し、実行していくための助言を行う。仕事は常に現地カウンターパートと行動を共にしながら彼に教えながらという形で活動することになる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 経験的に墾業・農業を知っているだけに過ぎない。高卒程度 30-40 歳

⑤ 現地で利用できる機材: 簿記に関する各種伝票、集計表 (足とりのランチャー、船外機)

⑥ 第3 国人等の配置状況: スペイン人 専門家

⑦ 使用する言語: スペイン語 (場所により住民は部族語を日常使用)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 協同組合助成局では 5 名の隊員が今までに協力活動を行ってきた。従来、墾業協同組合にけへの協力であったが、2 名の交代予定隊員の相つぎ辞退があり、今後は、墾村、農村における村落開発普及員として受け入れ側の期待は非常に高い。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 1. 墾業、農業の経験者(大学などでの実習も含む) ② 協同組合に関する知識がない場合、日本において墾協での 2 ヶ月程度の技術研修が必要 3. 自動車普通免許

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 5 日

調査者氏名 街津善男

160 食品加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
7117001	(現地公用語) Food Processing (日本語) 160 食品加工 (農産物加工)	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Palawan National Agricultural College (日本語): ハラワン農科大学					
② 隊員勤務先名称: = 同上 = 日本語名称 ( ) 所在地: ハラワン州 アボラソン町 主要都市 (ソフィット) から 70 キロ					
③ 事業規模及び内容: 学生約 1,000人 (高校も含む) 学政学部 に配属される。年間予算 約 5万ペソ					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 学部講師					
② 技術の範囲: 学生を対象に食品加工に関する講義をするとともに近隣農村を対象とした普及活動の一部として農産物の加工法に関する農村					
③ 業務の形態: 婦人にヤシを用く。又現地で手に入るものを加工し、商品化するための研究も行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: セント・トマス大学の教授 (女性) A 研究員 2名 キャンパーパート 4名					
⑤ 現地で利用できる機材: 基本的な化学器具はある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: 英語 タガログ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 南菜も盛ん、経済的にも後進地であるハラワン島であり農家の生活レベルも低い。これを向上させるため、周辺にある果物、農産物を加工し商品化することに目指してあり隊員の期待は強い。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 特に農産物加工 (ソーラ製菓) に関する知識、技術を有するに期待している。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 23 日

160 食品加工

調査者氏名

篠田 悟

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) खाद्य प्राविधिज्ञ (日本語) 食品加工 160	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): कायि मन्त्रालय केन्द्रीय खाद्य अनुसन्धान माला (日本語): 中央食品研究所 (ネパール 農業省)					
② 隊員勤務先名称: इयाङ्ग प्रयोगशाला केन्द्र 所在地: जिम्हरा 日本語名称 (リンゴ加工所) 主要都市 (カトマंड) から キロ					
③ 事業規模及び内容: 国立の食品研究所で Pilot Plant, Neutral Research and Development Section, Quality Control Section の分野があり. その他支所が 1つあり. グラン に グランチを 持つ. 今回がジムラ試験所は. 3つの グランの 1つになる.					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): グランチー 蒸留用機器 <del>等</del> 1日 2本の原料 リンゴを 処理できる 設備 設置予定					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 3rd グラス オフィシャル					
② 技術の範囲: 農芸化学, 食品加工 醸造					
③ 業務の形態: 主な活動はジムラにて リンゴプランター, ワインの製造を指導するにしている。 自国はジムラへの飛行機が 飛ぶ。その期間中は. カトマंडの研究 所に. 有用菌の 選抜, 醸造試験, 品質管理向上, 等の 仕事を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: オフィシャル 1名, テクニカルアシスタント 2名の 予定。					
⑤ 現地で利用できる機材: カトマंडの研究所. 微生物研究室においては. オートクレーブ, ホトル ブ, 乾熱滅菌機, ドランス, クリーンベンチ, インキュベーター等. 微生物を取り扱うための 基本的な機材の利用可能である。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: ネパール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ジムラのリンゴ園では. 良質のリンゴが とれるが. 輸送手段が 見備さぬので. 新鮮なものを 消費地に 送るのが. 困難で ある. これを 原地にて 加工する ことが 目的である. このプロジェクトは. 国王の 命令により. 始動する。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 四年制 大学 農芸化学 応用微生物 及び 醸造学専攻。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 16 日

調査者氏名

森 清之

160 食品加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ネパール	(現地公用語) Food Technology (日本語) 160 食品加工	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年7月	
(1) 配属先 Ministry of Education and Culture					
① 配属先名称(現地公用語): Institute of Science and Technology Tribhuvan Univ (日本語): 教育文化省 トリブバン大学理工学部					
② 隊員勤務先名称: Tribhuvan Univ Dharan Campus 日本語名称(トリブバン大学ダランキャンパス) 所在地: ハテソール ダレン 主要都市(ヒラケガール)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: ダレンキャンパス(4年制)の Bachelor of Science Food Technology Courseは、59年10月現在、教員 1 名、学生数、キャンパススタッフ及び指導教官数(非常勤を含む)約 50 名、食品科と技術関係 教官 6 名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実験室 5 室、調製室、基本的理化学器具					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: トリブバン大学ダレンキャンパス 食品学講師(乳業技術を中心)					
② 技術の範囲: 下記業務に支障のない英語の口頭能力が必要である(日本語に担当可能)					
③ 業務の形態: 1) 学生への講義・実習(乳業技術、その他、食品学全般) 2) 卒論指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 乳業技術用: クリームセパレーター、ホトクレード、産心分離器 5 台、冷却庫、インキュベーター、ワーターバス、セグメント・テスト・ブローメーター、各種、ラクトメーター、バグユッ、ボール・ミキサー、マシー、					
⑥ 第3国人等の配置状況: パンダラティ人 1 名					
⑦ 使用する言語: 英語: 授業のため英語が必要である。ネパール語も					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
学部長(キャンパス、チーフ)の日本人に対する期待は、極めて大きい。ポイントとしては、日本人以外はいれたいと、はっきり言っている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒 乳製品の加工専攻、修士以上 教壇経験があることが望ましい。英語力必要					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 20 日

調査者氏名

早川 淳 (印)

160 食品加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
P.N.G	(現地公用語) FACTORY MANAGER	新規	(男) 1 人	61年3月	
	(日本語) 工場長(専攻化学)160	交替	(女) 1 人 (男女不問) 1 人		
(1) 配属先 食品加工					
① 配属先名称(現地公用語): GULF PROVINCE GOVERNMENT					
(日本語): ガルフ州政府					
② 隊員勤務先名称: 商工局					
所在地: 5VR					
日本語名称( ): 主要都市(シムラ)から1.5時間					
③ 事業規模及び内容:					
不明					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: FACTORY MANAGER (工場長)					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: ニバヤンから精製したピルコーン抽出工場の責任者 生産技術、品質管理、資材購入、業務管理等と経営陣と 協力して行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 5L					
⑤ 現地で利用できる機材: 島内工業局 揚子機一式					
⑥ 第3国人等の配置状況: 5L					
⑦ 使用する言語: エ・V・L 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
経営と関係。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
ピルコーン抽出 工場に知識豊富な者 大学(専攻化学)卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 2 月 26 日

調査者氏名 金子 健二  
調査責任者 赤野 弘 昭

162 製菓・製パン

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Panaderia y Reposteria (日本語) 162 製菓 製パン	新規 <u>交替</u>	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	1986年 / 月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE FORMACIÓN PROFESIONAL  
(日本語): 国立職業技術庁 (労働省管轄下)
- ② 隊員勤務先名称: Proyecto de Procesamiento de Alimentos 日本語名称 (食品加工プロジェクト)  
所在地: サンペドロスーラ市 主要都市 (サンペドロスーラ) から 4 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 国立職業技術庁 (INFOP) は 国家開発計画に基づき、産業振興の基盤となる人材の養成 (農工業技術基礎知識の普及) を目的として、1972年に設立され、1979年より本格的な活動が開始され、年々活動規模が拡大の傾向にある。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 軽工業部門の職業訓練センターは、比較的整備されている食品加工センターは、まだ、材料不足の状態であるが、今後より整備されることと思われる。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Misión Japonesa - nivel de voluntario 技術財言者。
- ② 技術の範囲: 製菓製パン加工全般にわたり知識と技術も持っている事、ある程度高度な製パン加工技術 (工業) と手工業的製パン技術も有している事
- ③ 業務の形態: 食品加工センターでの食品加工講座開催、地方への移動教室型講座開催、そして製菓製パン企業内に於ける職業再教育及び技術財言活動に分かれ、その比率は 3 : 5 : 2 である。任期の約半分程度は地方への移動教室開催に費される。平均して 1 日 3 時間 - 6 時間 程度の授業を受け持つ。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は、一般大衆から製菓製パン企業で働く一般労働者、そして中堅技術者。カウンターパートは現在申請中、1986年には着任33名ある。

- ⑤ 現地で利用できる機材: 小型フードミキサー 2 台、電気式ホイツ、作業台、他、小型材料、必要材料があれば、協力隊側より援助が可能。

- ⑥ 第3国人等の配置状況: 西ドイツ、スイス、スイス、フランス、国連、OJTより専門家。

- ⑦ 使用する言語: スパニッシュ語。

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食品加工学プロジェクトは、1982年8月に立案され、配属国は職業技術庁の全面負担により食品加工センター建設が計画され、1984年8月よりセンターでの食品加工講座が開始されるに至っている。 (しかしながら各部門 (製菓製パン、食肉加工、乳製品加工、農産物加工、木産物加工) の伝統的な技術協力も現在の協力隊員派遣システムでは、非常に困難である。受入国側の期待と講座受講生数は、年々増大する傾向にあり、より充実したセンター運営の爲にも、各分野の専任協力隊員体制を実施していく必要がある。)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上、製パン企業での実務経験 3 年以上は、絶対条件  
食品加工学 特に製菓製パン加工に肉付知識と技術を要する

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 10 日

調査者氏名 熊野秀一

164 畜産物加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	(現地公用語) Heat Technology	新規	(男) 1 人	61 年 7 月	
	(日本語) 畜産物加工	<del>変替</del>	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education, Science & Technology					
(日本語): 教育科学技術省					
② 隊員勤務先名称: Jomo Kenyatta College of Agriculture & Technology					
所在地: P.O. Box 62000, Nairobi, Kenya					
日本語名称(ケニア工科大学) 主要都市(ナイロビ)から 25 キロ					
③ 事業規模及び内容: 農学部 3 学科(園芸, 農業工学, 食品加工), 農畜, 工学部(工建築, 機械工学, 電気工学) から 専任教員 約 70 名。ケニア人 140 名 事務職員 常勤者 約 60 名。日本政府の無償資金協力, 技術協力, 協力隊員の派遣を組み合わせ					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 合せてプロジェクトである。					
日本の協力による施設, 建物, 機械等。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Lecturer					
② 技術の範囲:					
③ 業務の形態: 当該分野の講義, 実習を英語で行う。内容は主に畜肉加工が中心になり可能ならば乳製品加工も担当分野に加えられる。テクニシャンを指導し実習工場の管理を行う。同時にテクニシャンに器具の使用法, 維持管理法を指導する。現在配置されているケニア人に当該分野の技術指導を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 学生は Secondary School 卒業生, 教員は ナロビ大学の卒業生である。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
スモークハウス, ミキサー, ミンサー, サリントカッター, 湯槽, スタッフ, 14 スリッパ					
冷蔵庫, 冷凍庫, 1.5 - 4 シェーダー, 110V, その他					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
ケニアには当該分野の人材が乏しく協力隊員の派遣を通じて人材の育成を行い、当国で将来性のある畜肉製品製造業の発展に寄与されることが期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
○大卒以上, 畜肉加工の実習経験のあること。					
○英語力					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 2月 25日

164 畜産物加工

調査者氏名 金子 健二  
調査責任者 赤塚 則昭

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス	(現地公用語) Procesamiento de Carne (Embutidos) (日本語) 164 畜産物加工	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	1986年 1月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE FORMACIÓN PROFESIONAL  
(日本語): 国立職業技術庁(芽吹省管轄下)

② 隊員勤務先名称: Proyecto de Procesamiento de Alimentos 日本語名称(食品加工プロジェクト)  
所在地: サン・アントニオ・スーラ市 主要都市(サン・アントニオ)から 4 キロ

③ 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は国家開発計画に基づき産業振興の基礎となる人材の養成(農工業技術基礎知識の普及)を目的として1972年に設立され、1979年より本格的な活動を開始し、年々活動規模が拡大の傾向にある。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 工業部門の職業訓練センターは、比較的整備されている。食品加工センターは、また、材料不足の状態であるが、今後より整備されることと思われる。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Misión Japonesa - nivel de voluntario 技術助言者

② 技術の範囲: 食肉加工全般にわたる知識と技術を持っている。専任作業で各種畜産加工品(各種ハム、ソーセージ等)を製作できる水準にあることが重要である。

③ 業務の形態: 大別して食品加工センターでの講座開催、地方での移動教室や講座開催、また、食肉加工企業内における職業再教育及び技術助言活動に分けられ、その比率は3:5:2である。任期の約半分程は、地方への移動教室開催に費やされる。平均して1日3時間〜6時間程度授業を受け持つ。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は一般大衆から食肉企業で働く一般労働者、また、中堅技術員。カウンターパートは農業高校卒、32才、技術水準は農業高校より低い。

⑤ 現地で利用できる機材: 手動式エアスタンプ、手動式ミートチャッパー、包丁類、ボール類、くん煙機等、手作業での製品製作はこれらの材料で容易である。又、必要材料があれば、協力隊側より援助が可能。

⑥ 第3国人等の配置状況: 西ドイツ、専任、スイス、フランス、国連、OJTより専門家、パート

⑦ 使用する言語: スパイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食品加工学プロジェクトは、1982年8月に立案され、配属側の全面負担により食品加工センター建設が始まり、1984年8月よりセンターでの食品加工講座が開催されるに至った。しかしながら、各部門(製菓製パン、食肉加工、乳製品加工、畜産物加工、水産物加工)の抜本的な技術協力や協力隊派遣に支障をきたすのは、非常に困難である。受入国側の期待と講座受講生数は年々拡大する傾向にあり、充実したセンター活動展開の為、今後各部門2名体制を実施していく必要がある。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

農学部卒 大半が望ましいが絶対条件ではない。実務経験3年以上であることが、又、化学分析等に関する知識を有している事。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 2 月 27 日

調査者氏名 TATSURO MIYAZONO

調査責任者 赤星 剛 昭

166 水産物加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
REPUBLICA DE HONDURAS	(現地公用語) PROCESAMIENTO DE ALIMENTOS (日本語) 166 水産物加工	新規 <input checked="" type="radio"/> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	59 年 10 月	

(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL (INFOP)

① 配属先名称(現地公用語): INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL (INFOP)

(日本語): 国立職業技術庁

② 隊員勤務先名称: INFOP ; PROCESAMIENTO DE ALIMENTOS 日本語名称(職業技術訓練センター)

所在地: SAN PEDRO SULA 主要都市(TEGUCIGALPA)から 320 キロ

③ 事業規模及び内容: 国立職業技術庁(INFOP)は、国家開発計画に基づき国内産業振興の基礎となる人材の育成を目的として設立され、ホンジュラス国に於いては唯一の職業技術教育機関であり、1979年より活動を開始された。

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 食品加工実習場が完成し、(1984年2月)

協力隊の援助により整備する予定である。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Misión Técnica del Japon Asesor de INFOP

② 技術の範囲: 対象者が漁村部の人々、都市部の一般市民、技術者と幅広い幅広い知識が必要、適応性を要する。

③ 業務の形態: 食品加工部門では、S.P.S 市内加工実習場において、食品加工学を学べる機会を与える。漁村部での移動講習会に於いては、その地に合った方法を考案し、食生活向上を目指す。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

対象者: 一般市民 漁村部の人々。カウンターパート: アシ

⑤ 現地で利用できる機材:

現在 3代目であり、前任、前々任の村材が残っている。

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: ESPAÑOL

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ホンジュラス国は、第一次産業を産業としており、工業化を計る上でも食品加工業の発展は大きな位置を占めるのである。

現在、多くの加工品を輸入している状態にあり、食品加工業の設立発展が大きな課題となっている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上で、できれば食品学科(木犀加工)卒が望ましい。が、地方へ出張の際、生活状況が悪いので、肉体的、精神的に強い人がよい。実務経験があれば尚良い。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 日

調査者氏名 鶴巻法岳

166 水産物加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コロンビア	(現地公用語) Proceso de Productos Marinos (日本語) 166 水産物加工	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Instituto de Fomento Industrial					
(日本語): 産業開発公社					
② 隊員勤務先名称: 日本語名称( )					
所在地: カルタヘナ 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技術指導員					
② 技術の範囲: 水産物の加工、処理、包装、品質管理、流通、消費					
③ 業務の形態: 漁民に対する水産物の加工→消費等に関する指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令:					
漁民					
⑤ 現地で利用できる機材:					
必要に応じて					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
水産物加工の技術指導を通じ漁民の生活向上を促進する。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
学歴は問わないが水産物加工に関する実務経験(4年以上)を必要とする。					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 20 日

調査者氏名 手川 義雄

166 水産物加工

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) FISH PROCESSING	新規	(男) 1人	60年2月	
	(日本語)	交替	(女) 1人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): PNG UNIV. of TECHNOLOGY					
(日本語): PNG 工科大学					
② 隊員勤務先名称: FISHERIES DEPT 日本語名称(水産学部)					
所在地: LAE 主要都市(LAE)から5キロ					
③ 事業規模及び内容: 総合工科大学(61年からスタート)の一科の PNG 大学に付属予定)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Res. Technician (研究生扱)					
② 技術の範囲: 魚の処理、冷蔵、包装等の業務、生産の技術指導					
③ 業務の形態: PNG 大学 水産学部において水産加工実習の指導に専ら従い、又 PNG で水揚げされた魚類の加工実習を行う。その他、研究等を行う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学生					
⑤ 現地で利用できる機材: 冷蔵庫、調理機					
⑥ 第3国人等の配置状況: 中米、南米、フィリピン、アフリカ人、インド人、etc.					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
水産加工の自国の技術者を養成に努めたい。又 PNG 国内において水産加工産業の発展に寄与する研究・実習を期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
大卒(水産学部製造科) 修士が望ましい					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 9月 17日

調査者氏名

佐尾小 省二

170 森林経営

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Agro-forestry	<del>新規</del>	(男) / 人	年 月	
	(日本語) 170 森林経営	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Aklan Agricultural College  
(日本語): アクラン農科大学

② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称( )  
所在地: Banga, Aklan 主要都市(Kalibo)から 11 キロ

③ 事業規模及び内容: 生徒数: 大学約500名, 高校約1500名, 教員数: 約10名  
学部数: 3学部6学科(但) 森林学部のみ, 2学科, 学生数25名, 教員数2名)

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別添写真参照

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 教員の1人として活動すると共に 部落民を対象とした 校外活動プロジェクトの技術顧問

② 技術の範囲: 同校内及び 地域部落を対象とした 森林資源 開発に必要な 植林・果樹・野菜栽培等の実践技術。

③ 業務の形態: 同大学から車で30分程の部落(部落民約400名)に位置する バランガイ 森林資源開発センター(小小屋程度の規模)を活動の拠点として 同部落の開発を 部落民, 学生9名, 校外活動員4名, カンターパート1名 と共に 植林及び 斜面を利用した 果樹・野菜栽培等の技術を導入することにより行う。

これらの活動以外に 同大学を会場とする 周辺地域の 森林の開発及び 森林経営学を担当する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: Mr. Robert L. Salazar, 24才, 国立バロ大学卒

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況: 協力隊員(家畜飼育)1名 及び 2名の 関連ボランティアが同大学へのプロジェクト

⑦ 使用する言語: 英語, アクラノン に配属されている。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 生活向上を目的に 地域部落の開発が 校外活動の一環として始られ 水道設置, 植林及び 斜面に於ける 果樹栽培等のプロジェクトが推進されて来た。 新技術の導入により 多方面からこのプロジェクトを 支援, 軌道に乗せ 広い地域に 拡大させることを期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

(森林経営学科卒) 及び 果樹・野菜栽培一般についての 実践的な知識。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 10 日

調査者氏名

白鳥清元

170 森林経営

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Forestry (日本語) 170 森林経営	新規 交替	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Indigenous Medicine (日本語): 右派薬品省					
② 隊員勤務先名称: Sri Lanka Environmental Federation 日本語名称(環境連盟) 所在地: コロンボ 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 材木及び薬材双方に利用可能な樹木の植林計画。 その他森林を中心とした環境保護。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位:					
② 技術の範囲: 地域、樹木の選定、植林計画から実作業まで幅広い知識。 薬用樹、果樹の知識も深い存在らしい。					
③ 業務の形態: スリランカ環境連盟及びサポーターやのスプと協力し、材木 及び薬材双方に利用可能な樹木の植林計画を推進する。現場での調査 及び実作業の指導が主たる仕事。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 有り					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 人材不足が大きな要因。 政府系の大きな製材工場は材量不足から稼働率が40%であり、現在古い 工場への転用を開始しており、当該計画も材量不足を補う政策の一環。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 大卒、経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 13 日

調査者氏名

白鳥清志

170 森林経営

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Tree Planting 170 森林経営 (植 林)	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	61年7月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Local Government, Housing and Construction  
(日本語): 地方行政住宅建設省

② 隊員勤務先名称: National Housing Development 日本語名称( )  
所在地: Authority (NHDA) 主要都市( )から キロ

③ 事業規模及び内容: ETEL ビルダの建設 コミュニティセンター

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位:

② 技術の範囲: 農技と豊富るアイデア

③ 業務の形態: NHDAのスタッフ. 各ETELビルダのコミュニティセンターのETELビルダに交する各種の作業を担い. ビルダの自立を図る。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

国民住宅建設運動の一環で、豊富るアイデアを期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

専攻

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 9月 10日

調査者氏名

黒田謙吾/熊野秀一

170 森林経営

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ケニア	170 Forestry 森林経営	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Agriculture & Livestock Development, Land Development Division, Irrigation & Drainage Branch. (日本語): 農業畜産開発省 土地開発局 灌排水課					
② 隊員勤務先名称: Muka Mukuu Rural Development Project 本語名称(ムカムク地域開発計画) 所在地: P.O. BOX 47051 NAIROBI 主要都市(ナイロビ)から 80 キロ					
③ 事業規模及び内容: 添付資料参照の事					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ムカムク地域開発計画での植林事業担当官					
② 技術の範囲: 苗木の生産、植林計画、森林保全等。現在、ユーカリ、グラバリア、ルサケ、サイラス等 を中心とした植林が始められている。					
③ 業務の形態: 植林事業の担当官として下記の業務を行なう。 ・プロジェクト地域に適した植林用樹木の選定 ・上記樹木の苗木生産管理 ・植林地の管理 ・植林事業に携わる普及員の技術教育 ・植木の普及					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 農民は小学校卒業程度。 普及員は農業専門学校卒					
⑤ 現地で利用できる機材: 特になし。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ドイツ人専門家、イギリス人コンサルタント、ポランネア、協力隊員					
⑦ 使用する言語: 英語、スワヒリ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ムカムクは標高1,400~1,700mに位置し、年降水量900mm、 平均気温14~31℃と半乾燥の気候条件下にある。当プロジェクトでは今後2~3年以内 当地区で植林事業を進めてゆく予定である。私当プロジェクト地域内の1,000~1,500haの農耕不 適地に、土壌保全、緑化、木材確保、薪の確保の目的をもって植林を積極的に計画する。以上の背景に より、専門技術者確保の必要上、当要請がプロジェクトから出された。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ④年制大学農学部(林学部)で当業種の専門分野を習得した者。 実務経験2年以上が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 16 日

調査者氏名 奈良輪睦美

170 森林経営

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) Forestry officer (日本語) 170 森林経営	新規 <u>交替</u>	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Forestry and Natural Resources (日本語): 森林天然資源省					
② 隊員勤務先名称: Forestry Department Mapping and Planning Section 日本語名称(森林局) 所在地: Lilongwe 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 国内全土の国有林の経営計画及び各造林地の林相図、配置図の製作を行っている					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 事務室、製図室、資料庫、青焼き室					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Forestry Officer (Professional Officer)					
② 技術の範囲: 測量士補、測量、航空写真の地図作製、造林代材計画の算定					
③ 業務の形態: 各国有林の材積調査と花に間伐、皆伐計画と算定。 大小さまざまな国有林地の測量とし林相図を制作。 測量せず航空写真のみで林相図を制作。 現場で測量は降は4-7と降雨計画実行。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 短大卒					
⑤ 現地で利用できる機材: チェーンソー、コンパス、スプレー(樹高用)、輪尺、直径7-7°、青焼き機、航空写真解折小用具					
⑥ 第3国人等の配置状況: 同セクションに英国人1名					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 大卒 ② 測量士補、3. 英語力はそれほど高い望み。					
※ 事務局記入 137					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 10 日

調査者氏名

小野 浩

170 森林経営

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
トニカ王国	(現地公用語) FORESTRY	新規	(男) 1人	61年 7月	
	(日本語) 170 森林経営	交替	(女) 1人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): ATENISI INSTITUTE  
(日本語): アテニシ インSTITUTE

② 隊員勤務先名称: AGRICULTURE DIVISION 日本語名称 (農業部)  
所在地: NUKU'ALOFA 郊外 主要都市 (ヌクアロファ) から 5 キロ

③ 事業規模及び内容: 1969, HIGH SCHOOL DIVISION 1本と、1972 当校はその後 TECHNICAL DIVISION, AGRICULTURE DIVISION を増設し、1975 UNIVERSITY DIVISION を開設。現在 HIGH SCHOOL Div. 1242人、UNIVERSITY Div. 21人 生徒を持つ、トニカ王国唯一の私立校。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 農業部 造林責任者

② 技術の範囲: 林業一般、土木一般

③ 業務の形態:  
① 選地造林経営の企画・実行  
② 圃場造成・維持・管理  
③ 適正経営の模索

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 不明

FARM MANAGER は 2人の経験者 (実務経験 20年)

⑤ 現地で利用できる機材: 基本的なもの

⑥ 第3国人等の配置状況: 相、ヌクアロファ 1人から 1名の講師 ボランティア (HIGH SCHOOL UNIVERSITY)

⑦ 使用する言語: トニカ語が主、英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: トニカ政府は私有地 20エーカー (湿地) の開発を申請しており、この造林計画を成功させる。日本人ボランティアは期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

農業高校 林業科卒以上、実務経験が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 13 日

調査者氏名 野津 善男

181 漁具漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
741701	(現地公用語) Fishing Gear & Methods (日本語) 181 漁具漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 0 人 (男女不問) 0 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Central Visaya Polytechnic College (COPC)					
(日本語): 中部七サヤ技術大学					
② 隊員勤務先名称: COPC College of Fisheries 日本語名称 (COPC 水産学部)					
所在地: Basil City, Negros Oriental 主要都市 (バシシティ) から 45 キロ					
③ 事業規模及び内容:					
生徒数 375人, 教員数 12名, 年間予算 80万ペソ (約 10百万円)					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): バンパ (無動力 1隻)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教官					
② 技術の範囲: 水産、沿岸漁業に関する知識、技術 (曳網、手網、刺網)					
③ 業務の形態: 授業を担当するときに、この間に、また漁具、漁法を紹介する					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 文盲 21人、読み書き 1人、技術面での経験 1人、経験なし 20人					
⑤ 現地で利用できる機材:					
バンパ 1隻 (小工の半漕ぎボート)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 本校に 隊員 1名 が 配属されている。					
⑦ 使用する言語: マタラ / 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
夕刊の休漁法等違法漁法が実施されており、資源の に配属されており、この地にある漁具漁法が定着が急務であり、その普及 のための要請がある。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 5 日

181 漁具漁法

調査者氏名 野津善男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fishing Gear & Methods	新規	(男) / 人	年 月	
	(日本語) 181 漁具漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): Palawan National Agricultural College  
(日本語): パラワン農科大学

② 隊員勤務先名称: Regional Institute of Fishery Technology 日本語名称 (地域水産学校)  
所在地: パラワン州 アボラン町 主要都市 セルタツンヤから 20 キロ

③ 事業規模及び内容: 高校部を含め約 1,000 人の学生が就学しており、そのうち水産学部は約 150 人。15 才規模の漁船を有している。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): RIFT は世銀のローンでフィリピン全土に 7 校建設されているが、11 校は建設は完了している。その中で RIFT はセルタツンヤ市に建設中。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 水産学部 講師

② 技術の範囲: 一般漁具論 漁法論 魚群生態学が講義でき、又実施できること。

③ 業務の形態: 水産学部で学生を対象に講義するとともに、学校所有の漁船で実習も担当する。その他、近隣の漁村にももろろ漁民を対象にセミナーも担当することとなる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: フィリピン大学水産学部卒  
JICA の研修で、神奈川県国際研修センターで研修を受け、経験も豊富。

⑤ 現地で利用できる機材: 日本語もチャットに使える。

漁船、漁具については現状把握し、必要に応じて試作することとなる。

⑥ 第 3 国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: タガログ語、英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

パラワン水域は国内でも有数の漁場をもち、パラワン島開発の一環として重点政策でもあり、(水産開発は) 若年技術者の増大が期待されており、JICA の隊員要請がある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

漁業実習の経験者、水産学部卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 15 日

181 漁具 漁法

調査者氏名 笠子 実

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
SRI LANKA	(現地公用語) FISHERIES EXTENSION TRAINING (日本語)	新規 参入	(男) 2 人 (女) 人 (男女不問) 人	60 年 12 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF FISHERIES					
(日本語): 漁業省					
② 隊員勤務先名称: TRAINING & EDUCATION OFFICE 日本語名称(普及所局)					
所在地: COLOMBO 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 技官					
② 技術の範囲: 沿岸漁業普及プロジェクトに従事、実エビ、カニの漁獲高の増加と効率化を計る。					
③ 業務の形態: 当面コロンボの普及所局付となり、いずれ地方特に南部地区に配置され、普及業務にたずさわらる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 不明。					
⑤ 現地で利用できる機材: 有。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: シンハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
④ 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 学卒 実務経験ある方が望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 4月 15日

調査者氏名 鈴木 敬一

181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
セネガル	(現地公用語) Appareaux et Methodes de Peche (日本語) 漁具 漁法 181	新規	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	5 61年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MINISTERE DU DEVELOPPEMENT SOCIAL					
(日本語): 社会開発省					
② 隊員勤務先名称: Centre de Peche 日本語名称( )					
所在地: Grandomp 主要都市(Ziguinchor)から 50 キロ					
③ 事業規模及び内容: 生徒数 10~20名 に対する 漁業指導					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): ピローブ 2 船外機 1 漁網(引網 1, 刺網 1) 他隣国の所属下にあるが、ボート、干物台、氷製室常時借用可能					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Centre de Peche 教師(漁業指導員)					
② 技術の範囲: 漁法(引網、刺網等)の指導					
③ 業務の形態: 研修生と共に出張し、漁業指導を行ったり、出荷に際し、助産する 簡単な加工指導を行ったり					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
大部分が漁網の経験者(網の修理は出来る) 年齢 25~35才					
⑤ 現地で利用できる機材: ピローブ 2 ヤマハボート 1 船外機 2 漁網 加工用工具、砥石、ボーム計等					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: フランス語、マンディンバ語、現地語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在、漁法に関して、豊富な知識・技術を有する者が不足し、 主に、地元の網による漁法に頼っている状態であるので、他の漁法、漁具の指導を(研修生に対し) 望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
漁具・漁法の知識を有する者、船外機、加工(主に氷製)に関して、簡単な知識を有する者。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和58年3月1日

181 漁具 漁法

調査者氏名 表 寿 雄

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) ARTE DE PESCA	(男) 1 人	訓練開始 58年10月
	(日本語) 漁具 漁法	(女) 人	派遣予定 59年1月
		(どちらでも可) 人	受入期限 59年3月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

CENTRO

イ. 配属先名称 (現地公用語) UNIVERSITARIO DE OCCIDENTE UNIV. DE COSTA RICA  
(日本語): 西部大学センター

ロ. 隊員勤務先名称: DIVISION DE PESQUERIA Y NAUTICA 日本語名称 (コスタリカ大学水産学部)  
所在地: Puntarenas 主要都市からの距離 首都より120km

ハ. 事業規模及び内容: 本学部 (2月6ヶ月制) は 1979年に新設され  
持帰当国の水産関係官公庁の職員及び船舶幹部職員を  
養成する。

ニ. 設備概要: 校舎一棟。若干の書籍と漁具展示室 (初代隊員作成)

(2) 隊員の業務内容:

① 言語上の地位: 大学講師

② 技術の範囲: 漁の各科目について教授する

(A) 漁具学 (漁具材料、漁具物理設計法)

(B) 漁法学 (曳網、流網、刺網、延縄 etc)

(C) 漁具実習 (漁具製作、修理 etc)

③ 業務の形態: 教室型

④ 対象者: 青年

カウンターパート: Sr Oscar Porras 十分に留意し、初代隊員の名誉OB  
がも教授されており一通りの知識は有に在る。

利用できず教材: 一通り揃っており、携行に不足はない。

⑤ 邦国人の配置: なし

⑥ 言語: 西語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

カウンターパートは一通りの知識を有に在り、  
留学予定につき、その間の代行が期待されている。二代目隊員の専攻が  
漁具解析等であることから、初代隊員のような教授は期待できない。  
留学で得た機会と考慮し、漁具漁法を専攻した者が赴任する事が期待され  
ている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

◎ 大学水産学部漁業学科卒で漁具漁法学 若しくは漁具学を専攻した者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 日

調査者氏名 鶴巻法岳

181 漁具漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エルサルバドル	(現地公用語) Metodos de Pesca Artesanal (日本語) ⑧ 漁具漁法	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 9月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Corporación Autónoma Regional de los Valles del Simón y del San Jorge C.V.S. (日本語): シン・サホル・エル・バレー地域開発公社(CVRS)					
② 隊員勤務先名称: 所在地: エルサルバドル エスキニョ湾 日本語名称( ): 主要都市(シセル木)から 40キロ					
③ 事業規模及び内容:					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 海洋漁具漁法プロジェクト次長					
② 技術の範囲: 海洋における漁具漁法					
③ 業務の形態: 漁具漁法に関する新技術の紹介及び、漁民に対する巡回指導、講習会の実施 海洋漁類の活動に関する調査研究。開発公社職員に対する助言指導。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 小型漁船、船外機、漁網。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語:					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 海洋における漁具漁法の実務経験2年以上 小型漁船、船外機の取扱。○					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 7 月 26 日

調査者氏名

浜田 哲郎 (印)

181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ソロモン諸島	(現地公用語) Master Fisherman (日本語) 漁具 漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Industry, Commerce, National Development (日本語): 工業・商業・国家開発省					
② 隊員勤務先名称: Isab Province, Fisheries Division 日本語名称 (イサブ州水産局) 所在地: タンバ (Tatamba Fisheries Centre) 要都市 (ブアラ) から 2 時間 船外港					
③ 事業規模及び内容: 水産局では、9人の職員が勤務し、それぞれ Kia, Kalo, Buala 支局、Tatamba センターに配属され、各地で漁民に対する各種の便宜をほかしている。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 写真別添 (タンバ 水産センター) 日本政府の援助により設立された水産センターである。そらっている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries officer					
② 技術の範囲: 水産資源の調査 適切な漁具・漁法の導入 漁民への指導					
③ 業務の形態: タンバ 水産センター (メインセンター) 配属となり、各支局に出張し、各地で漁民 水産センター職員に対する適切な漁具・漁法を指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 水産局の職員 年齢 20~30才、学歴、小学校卒から大学卒 (2人) まで					
⑤ 現地で利用できる機材: ヤマハボート 1台、カヌー 1台、船外機 2台、基礎的な漁具はあるが十分でない。(タンバ 水産センター)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: 英語、ロシン、イングリッシュ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 日本政府の援助により設立された水産センターの後、技術的にサポートしてもらう意味で、出訪を要請している。日本の水産技術の導入によせる期待は非常に高い。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): ○ 水産学部卒 ○ 経験 2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 12 日

調査者氏名

浜田哲郎


181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語)	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ソロソロ島	Master Fisherman (日本語) 181 漁具 漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Provincial Fisheries Division, Makira. (日本語): Makira州 水産局 (キキラ)					
② 隊員勤務先名称: Kira Kira Fisheries Division 日本語名称(キキラ 水産局) 所在地: キキラ 主要都市(キキラ)から 〇 キロ					
③ 事業規模及び内容: キキラ水産局の一の他に支庁が2つあり、6人の職員が勤務している。 漁民に対するトレーニングコースの開発、輸送等も実施している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 写真別添 日本政府の援助により設立された水産局の一。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Assistant Fisheries officer.					
② 技術の範囲: 水産関係(実務)に幅広い知識・技能が必要。					
③ 業務の形態: マキラ州の漁民 水産局のエクステンションワーカーに対する漁具の 技術指導、漁法の開発 及び 技術指導をトレーニングコース を通じて 教育・育成(スタッフも)する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は、水産局スタッフ全員とする。					
⑤ 現地で利用できる機材: カッター/台、船外機 他 漁具は一通りそろっているか たふで、あり。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: 英語、ロマンイングリッシュ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現地人スタッフで地域漁民に対し漁具漁法を訓練できる人材 はいかり。 JOCVの技術力に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○ 経験(実務) 2~3年 ○ 水産学卒業					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 7 月 18 日

調査者氏名

浜田哲郎 

181 漁具漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ソマリア	(現地公用語) Aquaculture. (日本語) 181 (漁具漁法)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	61年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Galdacanal Province, Fisheries Division. (日本語): ガダルカナル州 水産局					
② 隊員勤務先名称: Lambi Fisheries Centre. 日本語名称(ランビ水産センター) 所在地: ランビー 主要都市(ホラ) から約60キロ					
③ 事業規模及び内容: 2年の援助により設立された水産センター					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 冷凍庫 製氷機、発電機等。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries officer					
② 技術の範囲: 技術の範囲は養殖60%、漁具漁法40%であるが、どちらか一方					
③ 業務の形態: のみでも良い。 養殖 - 将来の水産資源としての小規模の海水又は淡水養殖の調査、及びデモンストラーションを実施する。 漁具漁法 - 刺し網、はねわりの技術を水産局スタッフ、地域漁民に教示指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 養殖に関しては、何もない。漁具漁法では、簡単な漁具はある。その他、カヌー、船外機。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無。					
⑦ 使用する言語: 英語、ソマリ語。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 特になし。が JOCV水産関係隊員に一諾になって働いてほしいと強く希望している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○水産学部卒 ○経験2年以上					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59年 6月 日  
 調査者氏名 三川 淳

181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Fishery/Gear Technology	新規	(男) 1人	60年3月	
	(日本語) 漁具・漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): MADANG PROV. PRIMARY INDUSTRIES DIVISION (日本語): マダガスカル 水産庁 漁業部					
② 隊員勤務先名称: _____ 日本語名称( ) 所在地: マダガスカル 主要都市(ポートビレ)から 250キロ					
③ 事業規模及び内容: )					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fishery Officer					
② 技術の範囲: 沿岸漁業の実践と漁具の知識を要す。又 漁具類の修理や、船舶修繕の操縦法も知識ある事。					
③ 業務の形態: マダガスカル水産庁にかゝり、マダガスカル沿岸漁民の漁具・漁法指導を要す。					
) 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 小型船舶、冷機等					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 主にヒンディー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 大学水産学部卒 沿岸漁業経験1年以上					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 日

調査者氏名

松尾新義 山口美奈

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 1人	昭和60年 3月	
	(日本語) 養殖	交替	(女) 1人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): The Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (B.F.A.R.)  
(日本語): 水産資源局

② 隊員勤務先名称: BFAR Provincial Fishery Office 日本語名称 (水産資源局地方事務所)  
所在地: Aparri, Cagayan, Region II 主要都市 (Aparri down town) から 0.5 キロ

③ 事業規模及び内容: 種苗生産 (アラピオニロカ, アラピオモガンビカ, カキ), 農家・漁家への養殖技術巡回指導及びセミナー, その他適法漁法の取締り。Cagayan地区には5つの試験場と上記の事務所1つがある。試験場勤務27名, 事務所22名の計49名。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 配属先事務所には池と養殖設備はなし。最も近い Camalamingan 試験場 (Aparriより13km, バイクで30分) には総敷地3.3ha, 池面積1.0haの11の池がある。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Extension Officer (巡回指導員)

② 技術の範囲: アラピオ種苗生産技術の改善, 巡回指導先でのアラピオ生産技術の向上のために必要な技術。池づくりの技術も必要。施肥養殖に詳しいこと。

③ 業務の形態: 種苗生産技術の改善のためには、試験場近くに住み、毎日池回りが必要。バイクを使用してのアラピオ養殖農家への指導。1か月のうち1週間程度は十分に巡回指導できる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 巡回指導のチームリーダー及び pond Manager がカウンターパートになる。

⑤ 現地で利用できる機材: 種苗生産池

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: 伊カノ語 (巡回指導に必要) と英語 (事務手続は英文)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 無投餌で養殖できるアラピオに対する期待は大きい。アラピオ種苗は、不足しており、そのため種苗生産技術の向上と改善による種苗生産の増大が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学卒 または水産高卒。魚を実際に飼育したことがある人。熱帯魚での経験でも可。増殖学科以外でも可。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 日

調査者氏名

松岡 邦義 山口 夏美

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種 (現地公用語) (日本語)	区分	受入希望人数 (男) 人 (女) 人 (男女不問) 人	受入希望時期 年 月	合格者名※
フィリピン	Fish Culture 養殖	新規 交替	1 人	可決 年 月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): The Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (B.F.A.R.)  
(日本語): 水産資源局

② 隊員勤務先名称: BFAR, Provincial Fishery Office 日本語名称(水産資源局地務課)

Pollock, SALANO 所在地: ~~Bayambang~~, Nueva Vizcaya 主要都市(Bayambang)から 7 キロ

③ 事業規模及び内容: 農家への養殖技術巡回指導及びセミナーの実施。試験場は、このSALANOのみ。職員は9名。テラピオ種苗生産用池を改善中。1984年種苗生産実績 48,000尾(目標の6%)

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 1x5x1m コンクリートタンク 10面。揚水ポンプ 1台。

種苗生産池 7面, 稚魚池 2面。総水面積 2.5ha, 実効面積 0.8ha.

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 巡回指導員

② 技術の範囲: 施肥養殖に詳しいこと。池の設計知識。

③ 業務の形態: テラピオ養殖農家への巡回指導。養殖技術の改善と向上のため、漁民、農民への講義、セミナーも行う。デモンストラショも行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

水産系大学卒, BFARK 10年勤務, 約34歳, 勤勉

⑤ 現地で利用できる機材: PH meter, water pump, 稚魚輸送箱(クーラー付)

⑥ 第3国人等の配置状況: Peace Cops 1名 Extension Serviceに従事。

⑦ 使用する言語: 伊カノ語と英語(住民の7割以上理解)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 無投餌で生長するテラピオに対する期待は大きい。テラピオ種苗は不足しており、そのために種苗生産技術の向上と改善による種苗生産の増大が望まれている。現在他の州より種苗を補給しており早くその不足をなくしたい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

水産系大学卒又は水産高卒。魚を実際に飼育したことがある人。養殖魚での飼育経験も可。増殖学科以外でも可。

※ 事務局記入

150

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和60年6月27日

182 養 殖

調査者氏名

石川 満 男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 182 養 殖	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bangladesh Academy for Rural Development (日本語): バングラデシュ農村開発アカデミー					
② 隊員勤務先名称: Comilla Kotawalithana Central Cooperative 日本語名称(コミラコトワリ)郡協同組合聯合会 所在地: Association (K.T.C.C.A.) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: 郡下約400の農業協同組合に対し各種トレーニングを行う。また、自産用資機材(主に農機具)の貸出及び販売、貸付ローン等の事業を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 敷地面積 19 エーカー 付属農場 6 エーカーの礼田と 1 エーカーの畑 此外に大きな池を保有している					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: B.A.R.D. 内では Associate Member, K.T.C.C.A. 内では Dy. Director					
② 技術の範囲: 一般的な養殖技術					
③ 業務の形態: ① 農民を対象にした淡水養殖法の指導 ② 付属農場内での養殖デモンストラーション ③ 農民に対する養殖トレーニングの実施 ④ 稚魚生産技術指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 28才 農業大学卒 大学は農学部 養殖が専門でかなりの技術水準は高い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在に於いては持ち出し且各農業協同組合の中には稚魚生産の に必要な施設を具備している所もある					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: ベンガール語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 20年間の日本人専門家・協力隊員が行った技術協力に対する評価は高く信頼感も絶大である。湖沼の多いこの地方は優良蛋白質源としての淡水魚養殖に対する需要は大きく自然養殖から人為的に稚魚生産による養殖法を導入して生産量を高める必要があり期待も大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 学歴 --- 大学卒(水産学部) 資格 --- 持ち向わない 実務経験 --- 4年の経験					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 21 日

182 養 殖

調査者氏名

石川 祐 男

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Bangladesh	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 2 人	61年4月	
	(日本語) 182 養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Directorate of Fisheries, Ministry of Fisheries and Livestock  
(日本語): 畜水産省, 水産局

② 隊員勤務先名称: Nator Fish Seed Multiplication Farm 日本語名称(ナトル稚魚増殖場)  
所在地: Nator, Rajshahi 主要都市(ダッカ)から220キロ

③ 事業規模及び内容: 全国10ヶ所にある稚魚増殖場の一つで、インドイ等の稚魚生産・販売をしている。職員は場長以下4名

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 養魚池 50m x 40m, 50m x 30m 6面, コンクリート池 20面  
屋根付稚魚池(コンクリート) 4面, ふ化槽 5個

(2) 隊員の業務内容 インドイ, ハクレンのホルモン注射による稚魚生産

① 隊員の業務上の地位: 場長と同格程度

② 技術の範囲: 種苗生産及び養殖技術普及に關する浅くとも幅広い知識  
当面はインドイのホルモン注射による種苗生産法の確立, 養殖飼料製作等。

③ 業務の形態: 産卵期向中は場内での稚魚生産指導。  
オフシーズンは養殖家に対するアドバイス, 技術指導  
村の

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: (対象者は農民) 学歴は様々。  
カウンターパートは場長, 大学也, 高卒

⑤ 現地で利用できる機材: 顕微鏡, 網生簀, 施設は上記の他タンク, ホンプ, 小屋, 倉庫。

⑥ 第3国人等の配置状況: なし

⑦ 使用する言語: ベンガル語, 専門用語は英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 食糧増産計画のなかで、池・河川の多い当国において養殖は大きな意味をもちている。特に Nator Farm は60年始めより新しく稚魚池, ふ化槽, ホンプが建設中であり, 完成時には稚魚生産の飛躍的増産が期待される。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

ホルモン注射による種苗生産技術があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 59 年 9 月 12 日

調査者氏名 佐々木 健一

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
バングラデシュ	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 1人	61年 8月	
	(日本語) 養殖	交替	(女) 1人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Kumudini Welfare Trust of Bengal					
(日本語): ベンガルクムデニ福祉財団					
② 隊員勤務先名称: Bharateswari Homes 日本語名称(バラテスワリ学園)					
所在地: Mirzapur, Tangail 主要都市(ダッカ)から 70キロ					
③ 事業規模及び内容: 孤児及び低所得家庭の子女を対象とした全寮制の女子学園。学級は小学校高学年から高校まで。生徒数1,050名、教師数90名。又同所にバドミントン部の無料病院も別途運営。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
校舎(教室、職員室)、寮(居室、食堂等)、農場(約10ha)、養殖池二ヶ所(約4ha)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 教師					
② 技術の範囲: 淡水養殖に関する知識、技術。					
③ 業務の形態: 同校内の養殖池にて淡水魚養殖Projectを設置し、飼養管理を行なうと共に、約14才から18才までの女子生徒を対象に飼養に関する知識、技術を教える。又将来カウンターパートの指導育成を行なう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年令:					
現在カウンターパートとなれる教師はなし。将来確保予定					
⑤ 現地で利用できる機材:					
揚水ポンプ以外特になし。					
隊員が指導しながら、施設及び機材を作製、又購入して行く。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 病院にオーストラリア人の婦人ボランティア1名。					
⑦ 使用する言語: ベンガル語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同校は恵みえない家庭の子女の養育の民間団体による学園であり、施設も良く教育程度も高い。教育の目標として自治出来る女性を育成し、その家庭レベルアップを計ると共に、地域のリーダーともなることを目指している。その際として養蚕、手工芸等の教育も行なっているが、教師となるべき女性が当国では非常に少ない。特に養殖は婦女子でも手軽に出来るものとして注目されており、期待は高い。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
短大卒以上、実務経験1年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 13 日

182 養 殖

調査者氏名

白鳥 清二

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Fish Culture (日本語) 182 養 殖	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1 人	61年7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Local Government, Housing and Construction (日本語): 地方行政住宅建設					
② 隊員勤務先名称: National Housing Development Authority (NHDA) 日本語名称( ) 所在地: Authority (NHDA) 主要都市( )から キロ					
③ 事業規模及び内容: エタイルビルディングの建設 インターフェイス					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位:					
② 技術の範囲: 実技と豊富なアイデア					
③ 業務の形態: NHDAのスタッフ、各エタイルビルディングのインターフェイスに合わせたエタイルビルディングの取組、普及、産業育成を推進しビルディングの自立を図る。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: シンハラ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
百不丹住宅建設運動の一環として豊富なアイデアを期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
大卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 4 月 6 日

調査者氏名 石山 由夫  
木内 志郎

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア アラブ共和国	(現地公用語) FISH CULTURE (日本語) 182 養 殖	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	60年12月 以降	
(1) 配属先 MINISTRY OF AGRICULTURE AND AGRARIAN REFORM					
① 配属先名称(現地公用語): GENERAL ESTABLISHMENT FOR FISHERIES (日本語): 農業農地改革省・水産公団					
② 隊員勤務先名称: GARB UNIT, SHATHA FARM 日本語名称 国立水産公団ガプニツト養魚場 所在地: シヤトハ 主要都市(ハマ)から 80 キロ					
③ 事業規模及び内容: 鯉(ドイフ鯉)の採卵ふ化から成魚育成までの一環生産を行っている。 1984年度は 60トンの食用魚を生産出荷。85年度の生産目標は 180トンである。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 産卵池(120㎡) 27面、越冬用稚魚飼育池(200㎡) 10面、 稚魚飼育池(0.5ha) 13面、成魚用池(2ha) 27面、他に出荷用コンクリート池 4面。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養魚技術者					
② 技術の範囲: 親魚管理、種苗生産、施肥(初期餌料用プランクトン生産)、餌付け及び給餌、 魚病管理、水質管理等 養鯉・養殖技術全般にわたる。					
③ 業務の形態: 勤務時間は 8時から 14時 30分(昼食は業務終了後)場合によっては時間外勤務もある。 不確定要素もあるが、養魚場における日常業務全般につき、シリア技術者又はワーカー兼として業務を行う。 特に技術面では、採卵、ふ化、稚魚飼育、給餌管理が主になると思われる。 地道な日常現場活動を通じ生産向上に努力する一方、各種データの収集等養魚技術者のあり方と実践を飛越 つ、養魚場経営・生産向上等に相応の視点等を整理発表し、氷と英文レポートにまとめ、公団関係者等に 報告し、現場及び公団本部スタッフ等と検討し解決を図り、氷等諸活動を通じ技術移転・生産向上に貢献する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: シヤトハ養魚場には、場長を含め 2名の農業短大卒 者が勤務している。他にワーカー 12名、大卒の技術者はいない。技術水準は比較的高くない(年令 24~40才位)					
⑤ 現地で利用できる機材: 50m と 10m の 更き網 各 1、餌運搬用トラック 1台、小型トラック 1台。 ボート 2隻が利用可能。 ( JICA 派遣の専門家 が 84年度 に 種苗生産 を 指導 した こ と が あ る )					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 同じガプニツトに所属するルジニ養魚場には UNV(バングラデシュ) 1名が活動中。					
⑦ 使用する言語: 英語及びアラビア語 (訓練では英語・アラビア語は現地訓練)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 水産公団ガプニツトには、シヤトハを含め 4つの養魚場があるが、 シヤトハ養魚場には、養鯉に関し、十分な知識経験を持った者が居らず、給餌養魚にもかわい 1/1ha 程度の生産しかあげておらず、技術的に改善・改良が望まれている。また、日常業務と 通じ一人でも多くの養魚技術者が育つことが期待されている。 更に、日シ両国の親善交流に寄与することもこの背景の一つである。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(水産学部卒) (実務経験 1年以上) 養鯉に関わる業務に関し、一通り水中作業も含め経験 があること、網類の製作・補修が出来ること、明るく社会的な協調性、日本語能力 25才以上					
※ 事務局記入					



青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 8 月 13 日

調査者氏名

182 養 殖

小林 龍雄 (陽明) 吉村 正 (陽明)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア・アラブ 共和国	(現地公用語) Fish culture (タルビ-エック) (日本語) 養 殖 (182)	新規  交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年1次隊 61年7月 以降	
(1) 配属先 Ministry of Agriculture and Agrarian Reform					
① 配属先名称(現地公用語): General Establishment for Fisheries (日本語): 農業農地改革省、水産公団					
② 隊員勤務先名称: Damascus Branch, Mzareeb Farm 日本語名称(ダマスカス支所、4200-7養魚場) 所在地: Dama, Mzareeb 主要都市(ダマ)から 12 キロ					
③ 事業規模及び内容: 鯉とタイロピアの種苗生産及び成魚生産。 1984年度は 鯉種魚 35万尾、鯉、タイロピアの成魚 20トの生産があった。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 養魚池 2000m <sup>2</sup> ×19面、セキ池 1000m <sup>2</sup> ×3面、300m <sup>2</sup> ×7面 採苗池 30面。導水をポンプで揚げて用水としている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖技術者					
② 技術の範囲: 鯉、タイロピアの種苗生産、成魚生産全般にわたる活動に従事する。給餌、魚病、及び水質の管理。					
③ 業務の形態: 場長、ワーカー(2人)等と共に、現場作業を主とし、生産活動に従事する。勤務時間は、8時から14時まで。シリア人技術者は少ないので、養魚技術(放養、給餌、取り上げ等)については、任せられる。と同時に、カウンターパートの技術の啓蒙を行う。一方、各種データの収集を行い生産向上に努力する。また、本部でのテレカウニング、報告書等で問題の解決、技術の向上に貢献する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 場長(農業専門学校卒)2才が一人いる。養魚に関しては素人。					
⑤ 現地で利用できる機材: 網、給餌機、運搬車等と最低限は揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 一切関与していない。					
⑦ 使用する言語: 現場では、アラビア語のみ。					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国において、養殖技術者は、いまだ充実にあらず。養殖技術の水準は低い。そのため外国からの技術協力は不可欠である。日常活動を通じ、生産の向上とシリア人養殖技術者の育成に、大きな期待が寄せられている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○水産養殖関係大学卒、○養魚経験1年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 7 月 31 日

調査者氏名 小川 秀樹 (隊員) 吉村 正秀 (駐在員)

182 養 殖

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
シリア	(現地公用語) マスサヒ アル サマツ (日本語) 養 殖 (182)	新規 (交替)	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 7月 (61年度1次隊)	
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語): モア、サヒ アル サマツ (日本語): 農務農地改革省 水産公団					
② 隊員勤務先名称: ファイ、ゲイマツ、マツ、サバ、ダニ 日本語名称 (マスサヒ支所 水産公団) 所在地: マスサヒ県 サバ、ダニ 主要都市 (マスサヒ) から 40 キロ					
③ 事業規模及び内容: 59年度 食用魚生産 42トン、種苗出荷 60万尾 (1-5gサイズ)。ニジマスの一貫生産、食用魚生産の他に他の養魚場 (肥育専門) へ種苗を出荷する。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 7缶室 (150万粒収容)、餌付け用FRPタンク (200ヶ)、縦列池 (42面)、円型池 (110面)、親魚池 (12面)、現在ニジマス肥育池を新設中。水量 600 <sup>cc</sup> /sec。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 養殖技術者、指導者としてその地位は高い。					
② 技術の範囲: ニジマス養殖に関するすべての知識、技術が要求される。(特に種苗生産)					
③ 業務の形態: 就業時間は 8:30 ~ 14:30。 仕事内容により 場長から レポートまですべてがカウンターパートとなり得る。年間生産計画の作製等、フィードバックと給餌、選別、種苗生産等のフィールドワークを指導しつつ作業を集める。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 場長 (大学農学部卒、42才、東ドイツへ一年研修)、現場主任 (農業高校卒、42才、東ドイツへ一年研修)、現場職員 (農業専門学校卒、27才) 三者共知識。					
⑤ 現地で利用できる機材: 技術は非常に限られている。 必要最低限度のものはそろっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: J.O.C.V 隊員 一名					
⑦ 使用する言語: アラビア語 (公団本部へ提出するレポートは英語)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国には水産技術者と養成する機関はなく各養殖場には技術者の不足が目立ち、又外国 (東ドイツ、ソビエト等) へ研修に行くに少数の技術者も知識、経験が不十分で生産は伸び悩んでいる。このような背景から J.O.C.V 隊員に対する期待は非常に高い。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 水産系大学卒 (養殖専攻) (実務経験2年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60年 3月 日

182 養 殖

調査者氏名 鶴 巻 法 岳

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
コロンビア	(現地公用語) Piscicultura	新規 交替	(男) / 人	60年 9月	
	(日本語) 182 養殖		(女) 人		
			(男女不問) 人		

(1) 配 属 先

① 配属先名称 (現地公用語): *Corporación Autónoma Regional del CAUCA (CVC)*  
(日本語): *カウカ地域開発公社*

② 隊員勤務先名称: *Instituto de Piscicultura Tropical* 日本語名称 (*熱帯養魚研究所*)  
所在地: *Valle del Cauca* 主要都市 ( ) から キロ

③ 事業規模及び内容:

*事務所、図書室、実験室の他、養殖用の施設として44のタンク、水槽、養魚池があり、ふ化場が建設中にある。*

④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: *研究員(技師)*

② 技術の範囲: *人工増殖*

③ 業務の形態:

*熱帯養魚研究所の技師とともに、養殖一般、特に魚卵の飼料、ふ化、稚魚の育成、選別に関する業務の企画運営にあたる。*  
業務時間 *8:00~12:00 A.M. 2:00~6:00 P.M.*

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

*生物学専攻者 2名*

⑤ 現地で利用できる機材:

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: *スペイン語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

*生物学または水産学の学歴及び養魚養殖の経験(2年以上)を要すること。*

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

長倉 幸三



記入昭和59年9月21日

191 農林統計

調査者氏名 齋川 幸三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Data Processor	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 農林統計 191	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限59年10月迄に現地到着のこと

(1) 調査先

- イ. 調査先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture
- (日本語): 農業省
- ロ. 隊員勤務元名称: Karonga Agricultural Development Division 日本語名称 (カロンガ農業開発局)
- 所在地: P.O. Box 43, Karonga MALAWI 主要都市からの距離 (首都より600キロ)
- Blantyre より 900 km
- ハ. 事業規模及び内容: 年間予算 600万クワチヤ (約 650万 USドル) で、マラウイ最北部の農業開発調査を行っている。予算出資は、I.D.A. 80% 自国政府 20%
- ニ. 設備概要: 各部署ごとに独立した家屋を持ち、ランドローバー一台ずつが配属されている。

(2) 隊員の業務内容:

- 1. 隊員は、Karonga Agricultural Development Division (以後 K.R.A.D.D.) の Evaluation Section (調査統計部、業務内容詳記す) に配属され、Data Processing Officer (P.O.) として仕事につく。上司は British のコントラクターであり、オの地位と12。また K.R.A.D.D. の中においても最上位の地位となっている。
- 2. 資料等作成において統計学及び、コンピューター使用における一般知識が必要とされ、農業についての知識も必要とされる。
- 3. 年間調査として大統領府統計局の指示に基づき、全国同一の書式による調査をまとめることが主である。
- 4. Data Processing staff は アシスタント 3名からなり、25才職歴10年一名、職歴2年2名 (20才24才) から成っている。Secondary School 卒 (全員)
- 5. 隊員により申請されたホムレットコンピューター1台、電卓6台がそろっている。報告書作成用ライプライター一台 (J.O.C.V. 外) もある。
- 6. 代り人のコントラクター1名が上司のほか、J.O.C.V. 1名 (農業土木)、アメリカンピラー1名 (女性問題) V.S.O. 1名 (前述女性問題 → 農村女性地位調査)
- 7. 英語にて、Official 会話が行なわれるが、北部の部族語 (ロンブカ語) も、地位の低いワーカーは使用。1か所から、英語があくまで主である。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

昭和54年8月初めての隊員が配属されて以来、仕事上において円滑な業務が行なわれ、また、コンピュータープログラミング、統計処理の指導が行なわれるとき、大きな期待が寄せられている。J.O.C.V. 隊員は、友好的な利己的な面を出すことが少なく、評判が良く再び依頼がされるくらいである。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学卒以上、農林統計、統計学を収め、また、コンピューター使用が可能であればこのうえない。社会経験があればそのほうがよい。ただし、統計は一般的知識、高校数学程度でこなせるが、英語力が英検2級以上は必要とされる。25才から30才が好ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 9 月 23 日

調査者氏名 小野 孝一 

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ハONDON	(現地公用語) Horticultura (日本語) 野菜	新規 <input checked="" type="radio"/> 替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年5月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Agricultura y Ganaderia (日本語): 農牧省					
② 隊員勤務先名称: Agencia de Servicio de Extensión Agrícola 日本語名称(農牧省) 日本農業新聞社 所在地: Coronel Oviedo 主要都市(アスンシオン)から130キロ					
③ 事業規模及び内容: オビド地区の工業作物(綿、サトウキビ)、食用作物(トマト、ジャガイモ等)の栽培農家への技術指導、養豚等の畜産指導及び農村婦人対象の生活改善(栄養、衛生等)の指導を行っている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 平屋建の事務所、シンロー1台、バイク3台、監督官及び所長以下9名のスタッフ。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 普及事業所員(野菜指導員) 5/1 佐藤仁 報請参照					
② 技術の範囲: トマト、キャベツ、ニンジン等を中心とする野菜栽培農家への巡回普及指導という形で活動するほか、野菜全般に関する知識が必要					
③ 業務の形態: 普及活動の内容——オビド農協、農民金融公庫の職員との協力 ① 優良品種の導入とその栽培技術指導——日本の種子が多い。 ② 農家訪問や人数の話し合い等の直接指導 ③ 展示圃の管理 ④ 農協や4Cなどの農民組織の育成 ⑤ 当国において最高の生産量の地域であるジャカイロの栽培指導助言					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 地域周辺の農家を対象、カウンターパートは、ジャカイロ農業技師が普及活動を行う。					
⑤ 現地で利用できる機材: スライド映写機1台、PH測定器1台(携帯用M-13)、小型カメラ16mm1台、携帯用黒板3台、書籍2冊(前任隊員が引継)、バネはかり、鶏卵計1台、温度計2本、工具類、クワ、シャベル等の農機具					
⑥ 第3国人等の配置状況: アメリカンセーフティ2名、協働隊員(生活改善)1名					
⑦ 使用する言語: スペイン語、ガラニ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国において野菜の消費が大都市においてやっと普及はじめ、その生産量、消費量共に増加しつつあるが栽培の歴史も浅く、現代人スタッフの中には、専門の知識を有するものはいく、その存在に対する期待は大きい。又、当国最大のジャカイロの主産地である、換金作物としての生産量を増加させるべく、農民にとっても、願望があり、この分野における期待も大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): <input checked="" type="radio"/> 野菜ついで経験3年以上					
※ 事務局記入					